

8 資 料

自主防災活動に関するマニュアル・情報の公開（市HP）

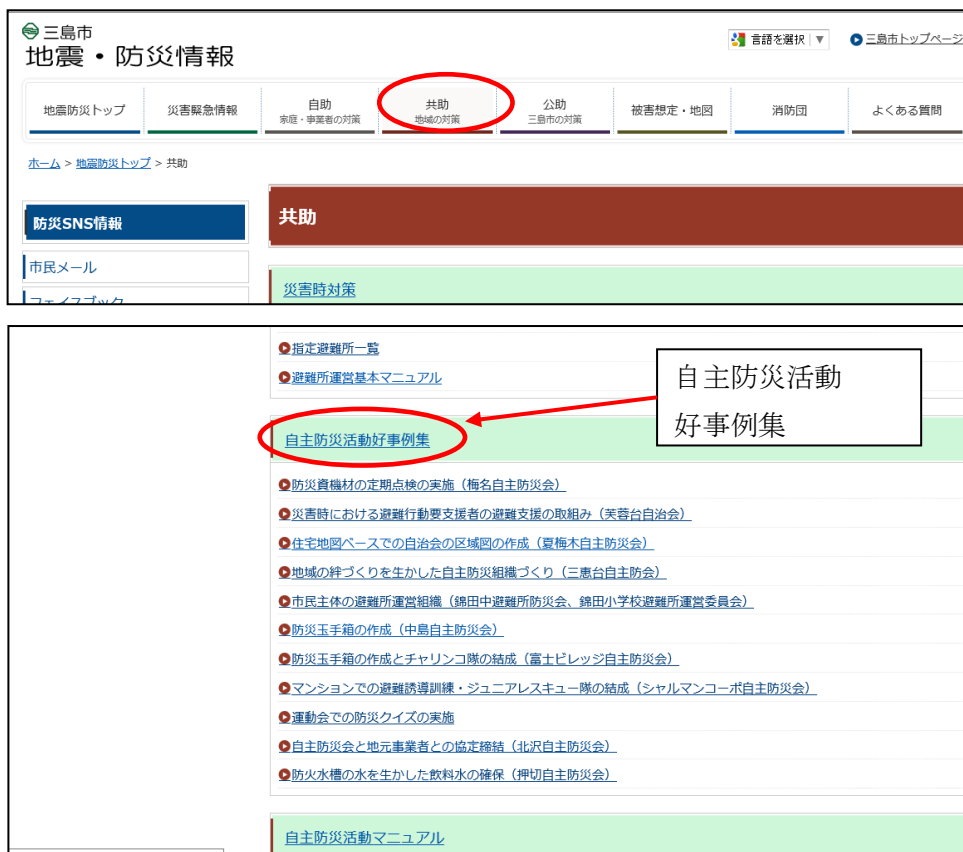
三島市のホームページから防災情報を発信しています。



自主防災組織の様々な情報、マニュアル、各種様式を公開しています。



自主防災活動好事例集を公開しています。



【自主防災活動好事例集】

- 風水害時の避難行動マニュアルの作成・コミュニティを活かした駆け込み家の選定（千枚原自主防災会）
- 自主防災組織活動班の班別研修会の実施（安久自主防災会）
- マンションでのフローア防災隊の結成と自主防災隊の災害時対応訓練（シャルマンコーポ自主防災会）
- 防災資機材の定期点検の実施（梅名自主防災会）
- 災害時における避難行動要支援者の避難支援の取組み（芙蓉台自治会）
- 防災玉手箱の作成（中島自主防災会）
- 防災玉手箱の作成とチャリンコ隊の結成（富士ビレッジ自主防災会）
- 住宅地図ベースでの自治会の区域図の作成（夏梅木自主防災会）
- マンションでの避難誘導訓練・ジュニアレスキュー隊の結成（シャルマンコーポ自主防災会）
- 運動会での防災クイズの実施
- 地域の絆づくりを生かした自主防災組織づくり（三恵台自主防会）
- 防火水槽の水を生かした飲料水の確保（押切自主防災会）
- 自主防災会と地元事業者との協定締結（北沢自主防災会）
- 市民主体の避難所運営組織（錦田小学校避難所運営委員会）

自主防災活動に関するマニュアルの公開（県HP）

県で作成した自主防災組織活動マニュアル等は静岡県ホームページからダウンロードできます。

静岡県 危機管理部

検索

The screenshot shows the official website of Shizuoka Prefecture. At the top, there is a navigation bar with links like 'ホーム' (Home), '目的から探す' (Search by purpose), 'テーマから探す' (Search by theme), '組織から探す' (Search by organization), and '県政情報' (Prefectural information). Below this, a breadcrumb trail indicates the current location: '現在の位置: ホーム > 県政情報 > 県庁の情報 > 県庁の組織 > 危機管理部'. The main content area is titled '危機管理部' (Crisis Management Department). It includes social media icons for Twitter, Facebook, and LINE, along with a 'いいね!' (Like!) button. A page ID 'ページID1003618' and an update date '更新日 2023年3月8日' are also present. A section titled '災害時における被災者の氏名等公表方針' (Policy on disclosure of names of disaster victims) is visible. Below that, a section titled '静岡県の防災について' (About disaster prevention in Shizuoka Prefecture) lists several items, including a digest version of a manual and an app. A '静岡県防災チャンネル' (Shizuoka Prefecture Disaster Channel) section promotes video content. At the bottom, a '各種リンク' (Various links) section contains a link to '自主防災組織(マニュアル・事例集等)' (Self-defense organization (manuals, case studies, etc.)), which is circled in red. A blue arrow points from this link to a dashed box containing a list of available manuals and checklists.

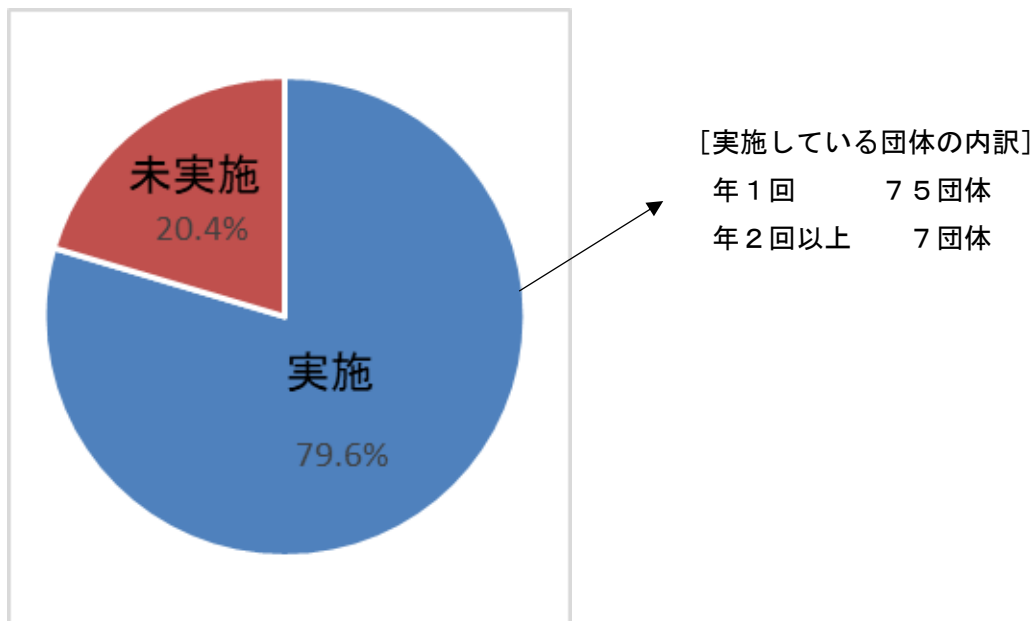
自主防災組織（マニュアル・事例集等）→自主防災関係チェックリスト

- 家庭内対策（自助）チェックリスト
- 自主防災組織活動（共助）チェックリスト
- 防災資機材・防災用品点検チェックリスト など

令和6年度自主防災組織活動状況アンケート調査結果

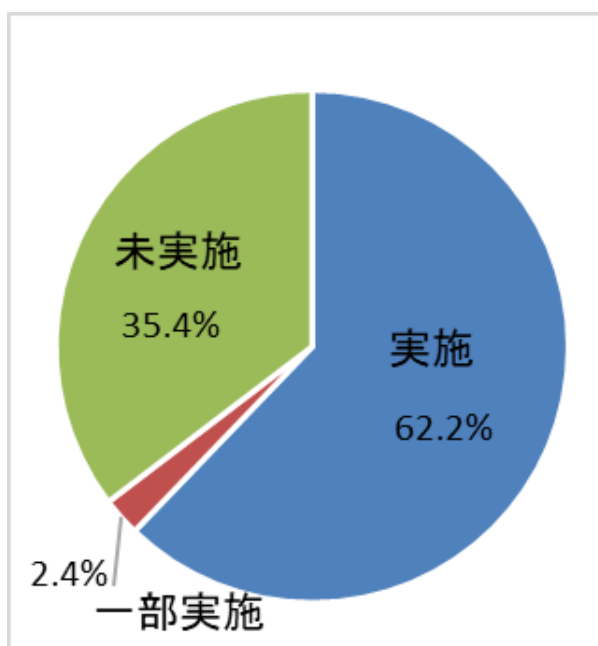
○実施期間 令和6年4月～9月
 ○対象団体 全自主防災組織 143団体
 ○回答団体数 103団体（回答率 72.0%）

Q1 自主防災組織で全世帯を対象として防災訓練を実施していますか。

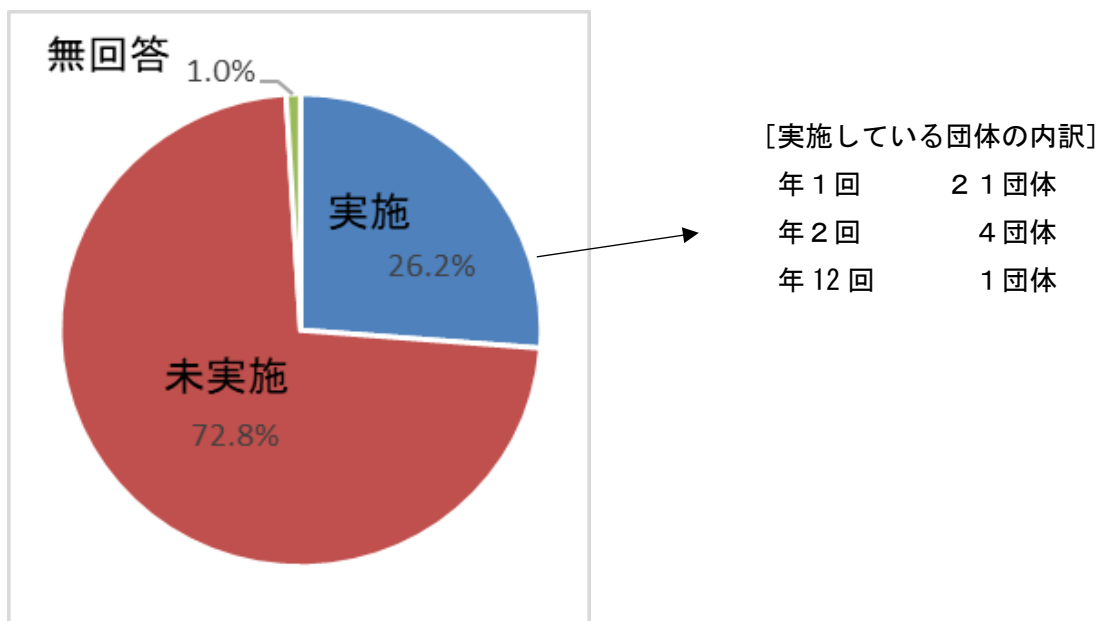


[Q1で「実施している」と回答した団体のみ回答]

安否確認訓練で「黄色いハンカチ作戦」を実施していますか。



Q 2 防災訓練とは別に防災体験教育を実施（予定）していますか。

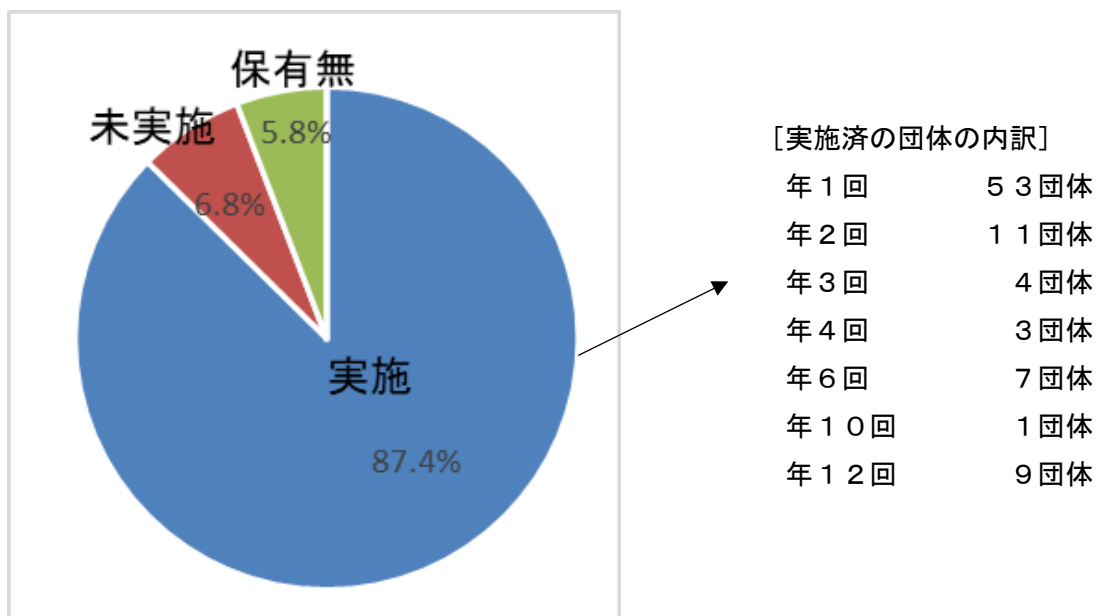


[Q 2で「実施済」と回答した団体のみ回答]

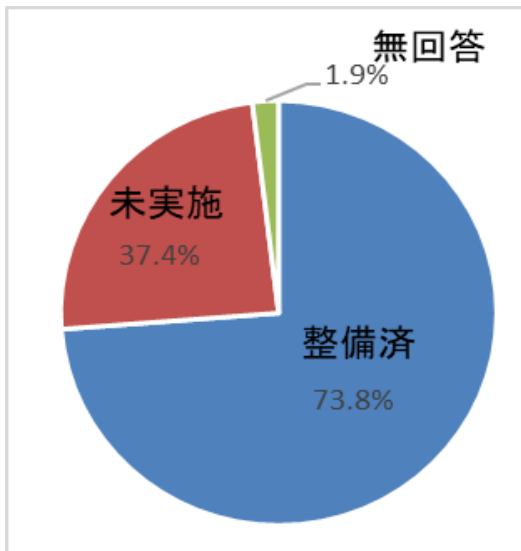
どのような啓発、教育をしていますか。

- ・ 起震車 6 団体
- ・ 災害図上訓練（D I G） 7 団体
- ・ 避難所運営ゲーム（H U G） 3 団体
- ・ 防災講座 1 0 団体
- ・ 自治会新聞等による啓発 5 団体
- ・ その他 1 2 団体

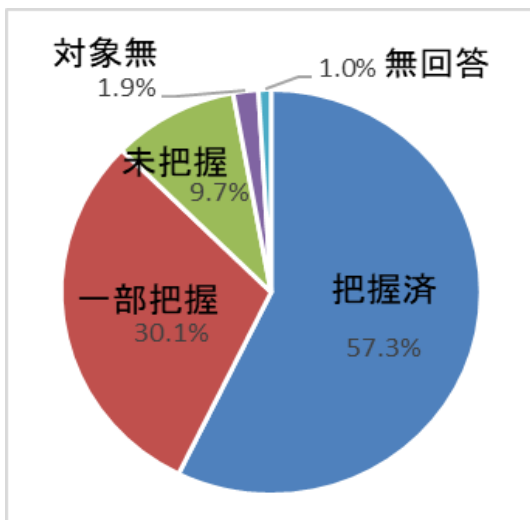
Q 3 所有する防災資機材の点検（発電機の操作確認等）を実施（予定）していますか。



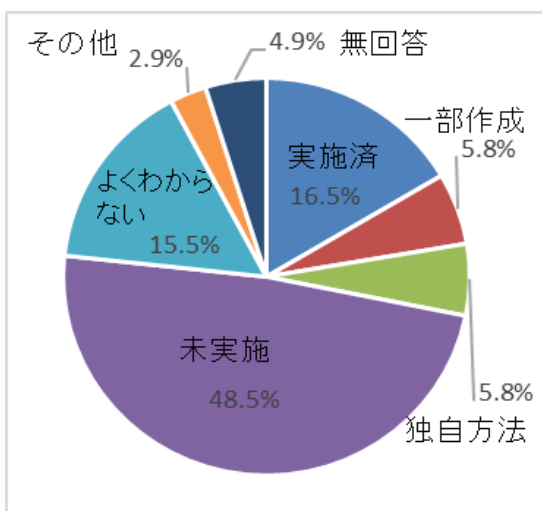
Q 4 災害時に使用する町内の世帯台帳を整備していますか。



Q 5 要配慮者宅を把握していますか。



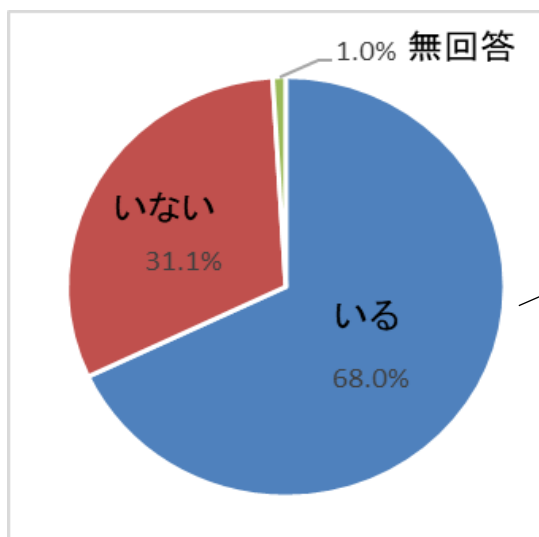
Q 6 要配慮者の避難行動要支援者台帳に基づく個別避難計画を作成しましたが。



〔その他〕

- ・民生委員様が名簿作成時に同時に作成し、自治会としてはノータッチ
- ・ほとんどが後期高齢者につき、全員を要配慮者対応としている。

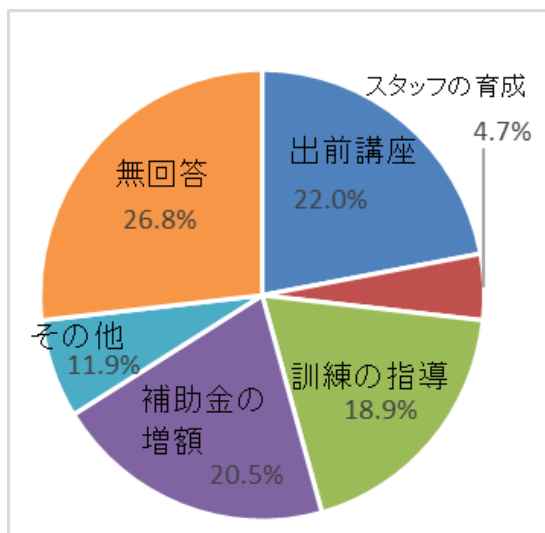
Q 7 自主防災組織の役員（班長）に女性はいますか。



[女性役員率]

10%未満	7 団体
10%～20%	3 7 団体
20%～30%	1 5 団体
30%～40%	4 団体
40%以上	3 団体

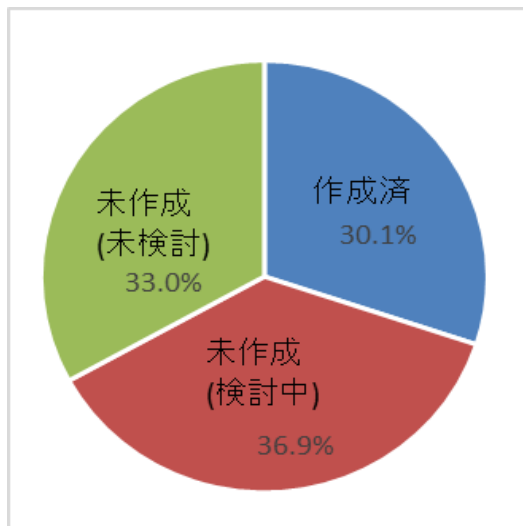
Q 8 自主防災組織の防災について市に依頼したいことがありますか。



[その他]

- ・ 水消火器を利用したい
- ・ 意見交換会等
- ・ 資機材購入手続きの簡略化

Q 9 自主防災組織独自の計画（マニュアル）を作成していますか。



静岡県第4次地震被害想定(三島市分抜粋)の概要

○被害想定目的

東日本大震災の教訓を生かし、レベル1・レベル2の地震・津波を想定した被害想定を実施し、今後の地震・津波対策の基礎資料として活用

レベル1の地震・津波	発生頻度は比較的高く(駿河・南海トラフでは約 100～150 年に 1 回)、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
レベル2の地震・津波	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

※「約〇〇」と記載されているものは、四捨五入して算出した概算の数値なので、合計が合わない場合がある。

自然現象

1 地震動

[駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震]

(2) レベル2(南海トラフ巨大地震・東側ケース(三島市最大))の地震

推定震度		7	6 強	6 弱	5 強	5 弱	4 以下	合計
三島市	面積(km ²)	0.0	0.0	54.6	6.8	0.0	0.0	61.4
	割合(%)	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	0.0	100.0
静岡県	面積(km ²)	658.6	1,952.4	3,510.3	1,509.9	84.8	0.0	7,716.0
	割合(%)	8.5	25.3	45.5	19.6	1.1	0.0	100.0

[相模トラフ沿いで発生する地震]

(2) レベル2(元禄型関東地震)の地震

推定震度		7	6 強	6 弱	5 強	5 弱	4 以下	合計
三島市	面積(km ²)	0.0	42.6	13.8	5.0	0.1	0.0	61.4
	割合(%)	0.0	69.4	22.5	8.1	0.2	0.0	100.0
静岡県	面積(km ²)	109.3	452.9	878.1	697.6	1,060.1	4,518.0	7,716.0
	割合(%)	1.4	5.9	11.4	9.0	13.7	58.6	100.0

2 地面の液状化

[駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震]

(2) レベル2(南海トラフ巨大地震・東側ケース)の地震

可能性ランク		大	中	小	なし	評価対象外	合計
三島市	面積(km ²)	2.7	3.8	1.3	0.4	53.2	61.4
	割合(%)	4.4	6.2	2.1	0.7	86.6	100.0

静岡県 全体	面積(km ²)	204.2	227.2	104.9	205.3	6,974.4	7,716.0
	割合(%)	2.6	2.9	1.4	2.7	90.4	100.0

相模トラフ沿いで発生する地震]

(2) レベル2(元禄型関東地震)の地震

可能性ランク		大	中	小	なし	評価対象外	合計
三島市	面積(km ²)	3.1	3.5	1.2	0.5	53.2	61.4
	割合(%)	5.0	5.7	2.0	0.8	86.6	100.0
静岡県 全体	面積(km ²)	23.6	38.4	67.2	154.8	7,432.1	7,716.0
	割合(%)	0.3	0.5	0.9	2.0	96.3	100.0

大：液状化の可能性が高い 中：液状化の危険性がやや高い 小：液状化の危険性が低い
なし：液状化の危険性は極めて低い

人的・建物被害

1 建物被害

(全壊・焼失棟数)

単位:棟

地震種別	揺れ	液状化	人工造成地	津波	山崖崩れ	火災	合計
南海トラフ巨大地震 (東側ケース)	約 200	約 100	—	—	約 10	約 10	約 400
元禄型関東地震	約 1,400	約 100	—	—	約 10	約 1,200	約 2,700
静岡県全体 (南海トラフ東側ケース)	約 191,000	約 1,800	約 17,000	約 28,000	約 2,700	約 66,000	約 304,000

(半壊棟数)

単位:棟

地震種別	揺れ	液状化	人工造成地	津波	山崖崩れ	合計
南海トラフ巨大地震 (東側ケース)	約 1,800	約 500	—	—	約 20	約 2,300
元禄型関東地震	約 4,700	約 500	約 10	—	約 30	約 5,200
静岡県全体 (南海トラフ東側ケース)	約 181,000	約 6,000	約 50,000	約 31,000	約 6,300	約 274,000

2 人的被害

(1) 死者数

単位:人

地震種別	建物倒壊		津波	山崖崩れ	火災	ブロック塀 の転倒、屋 外落下物	合計
		うち屋内収容物 移動・転倒・屋 内落下物					
南海トラフ巨大地震 (東側ケース)	—	—	—	—	—	—	—

元禄型関東地震	約 10	—	—	—	—	—	約 20
静岡県全体 (南海トラフ陸側ケース)	約 7,800	約 700	約 96,000	約 200	約 3,300	約 20	約 105,000

(2) 重傷者数

単位:人

地震種別	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒・屋内落下物	山崖崩れ	火災	ブロック塀の転倒、屋外落下物	合計
南海トラフ巨大地震 (東側ケース)	約 60	約 10	—	—	—	約 60
元禄型関東地震	約 200	約 20	—	—	—	約 200

(3) 軽傷者数

単位:人

地震種別	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒・屋内落下物	山崖崩れ	火災	ブロック塀の転倒、屋外落下物	合計
南海トラフ巨大地震 (東側ケース)	約 300	約 50	—	—	—	約 300
元禄型関東地震	約 800	約 100	—	—	—	約 800

以下の項目は、基本的に南海トラフ巨大地震(東側ケース)で発生する地震を記載した。

ライフラインの被害

1 上水道

<断水率、断水人口>

給水人口(人)	断水率(%)				断水人口(人)			
	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
約 111,000 人	97	96	52	0	約 108,000	約 107,000	約 58,000	—

2 下水道

<機能支障率、機能支障人口>

処理人口(人)	機能支障率(%)				機能支障人口(人)			
	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
約 87,000	3	3	0	0	約2,800	約2,400	約 300	—

3 電力

<停電率、停電件数>

需要家(軒)	停電率(%)				停電件数(軒)			
	直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
約 65,000	89	78	0	0	約58,000	約51,000	約 50	約 40

4 通信

<固定電話>

回線数(回線)	不通回線率(%)				不通回線数(回線)			
	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
約 17,000	89	78	0	0	約15,000	約13,000	約 10	-

<携帯電話>

停波基地局数率(%)				不通ランク			
直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
0	78	0	0	-	A	-	-

不通ランク「A」: 停電による停波基地局数率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。

5 ガス

<都市ガス>

需要家数(戸)	供給停止戸数(戸)	供給停止率(%)	復旧対象戸数(戸)
約 24,000	-	0	-

<LPガス>

需要家数(戸)	機能支障率(%)	要点検需要家数(戸)
約 19,000	7	約 1,300

生活支障

1 避難者数

<避難者数>

単位:人

	1 日後			1 週間後			1 ヶ月後		
	避難者数			避難者数			避難者数		
		避難所	避難所外		避難所	避難所外		避難所	避難所外
東海地震 など	1,409	846	564	15,191	7,595	7,595	1,409	423	986
南海トラフ 東側ケース	2,076	1,246	831	16,366	8,183	8,183	2,076	623	1,454
元禄型 関東地震	9,792	5,875	3,917	16,521	8,260	8,260	9,792	2,938	6,854

2 帰宅困難者

1日当たりの観光・出張者数

単位:人

観光目的					ビジネス目的					合計
県内		県外		小計	県内		県外		小計	
宿泊	日帰り	宿泊	日帰		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り		
216	1,290	841	2,497	4,844	101	4	342	230	678	5,521

平成 24 年度年間観光入込客数を 366 日で除して 1 日当たりとし、交流客数に応じて配分推計したもの。

3 物資不足

＜給水、食料、毛布の不足量(市の備蓄のみで対応した場合)＞

区分	住民分				観光・出張客分を考慮した場合	
	自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		自市町のみで対応した場合 1～3日目の計	余剰量の半分を抛出した場合 1～3日目の計
	1～3日目の計	4～7日目の計	1～3日目の計	4～7日目の計		
給 水(トン)	317	5,246	0	4,751	361	0
食 料(食)	0	0	0	0	0	0
毛 布(枚)	0	0	0	0	0	0

※家庭内備蓄を考慮して算出している。

4 医療機能支障

単位:人

対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数+ 病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
					入院対応	外来対応
約 100	約 30	約 60	約 1,000	約 300	—	—

注意:震災直後の3日間は、ほぼ全ての病院等がX線検査、人工透析、完全な手術などの医療行為が行なえない状態での最低限での救急治療となる(阪神・淡路大震災の病院実態調査)。

5 住機能(応急仮設住宅等): 自宅が全壊・焼失・半壊世帯需要

＜中期的住機能支障 潜在的需要(発災後約1ヶ月～2年間)＞

単位:世帯

区 分	応急仮設住宅等の需要					合計
	民間賃貸	借上げ型 応急住宅	応急仮設住 宅	公営住宅の 一時使用	その他	
希望通り入居	151	244	157	99	2,166	2,817
半壊を一時入居 不可とした場合	175	93	67	39	2,443	2,817

6 し尿・ごみ・がれき

＜仮設トイレ不足量＞

単位:基(仮設トイレ基数概算)

市の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
0	0

＜災害廃棄物＞

被害が最大となる冬夕方発災時廃棄物として想定している

災害廃棄物発生量(トン)	災害廃棄物発生量(m ³)
50,000	43,000

7 要配慮者の被災・生活支障

1週間後の避難所避難者に占める要援護者数

単位:人

65 歳以上の高齢 単身者	5 歳未満 乳幼児	身 体 障害者	知 的 障害者	精 神 障害者	要介護 認定者*	難病 患者	妊産婦	外国人
約 300	約 300	約 200	約 50	約 20	約 200	約 50	約 100	約 80

* 要支援者を除く。